

エジプト国カイロ大学小児病院
(第2期)
計画打合せ調査団報告書

平成3年6月

国際協力事業団
医療協力部

医 協

J R

91-25

エジプト国カイロ大学小児病院

(第2期)

計画打合せ調査団報告書

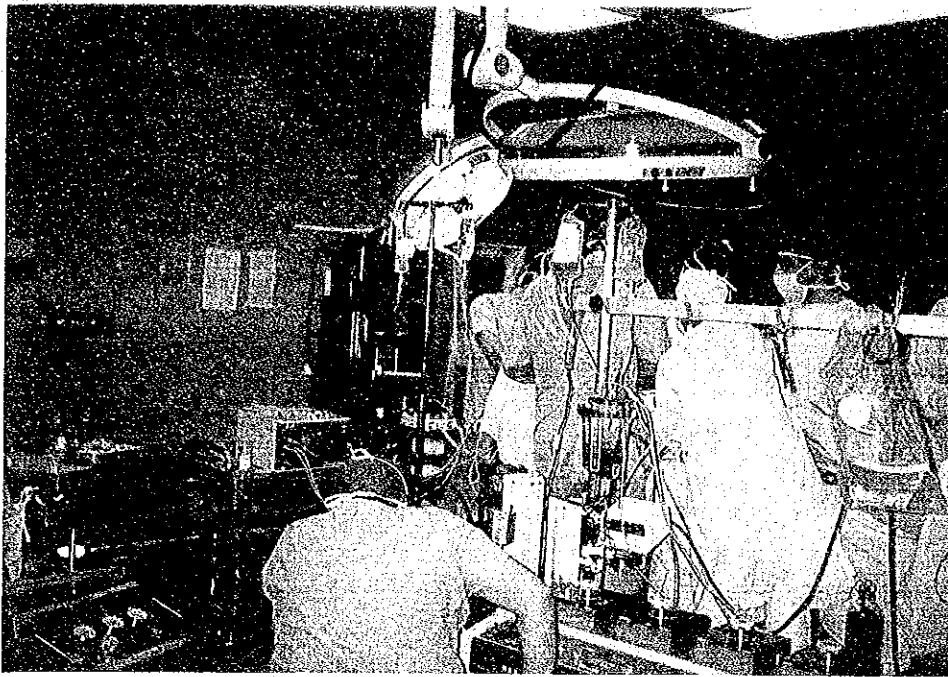
平成3年6月

国際協力事業団

医療協力部

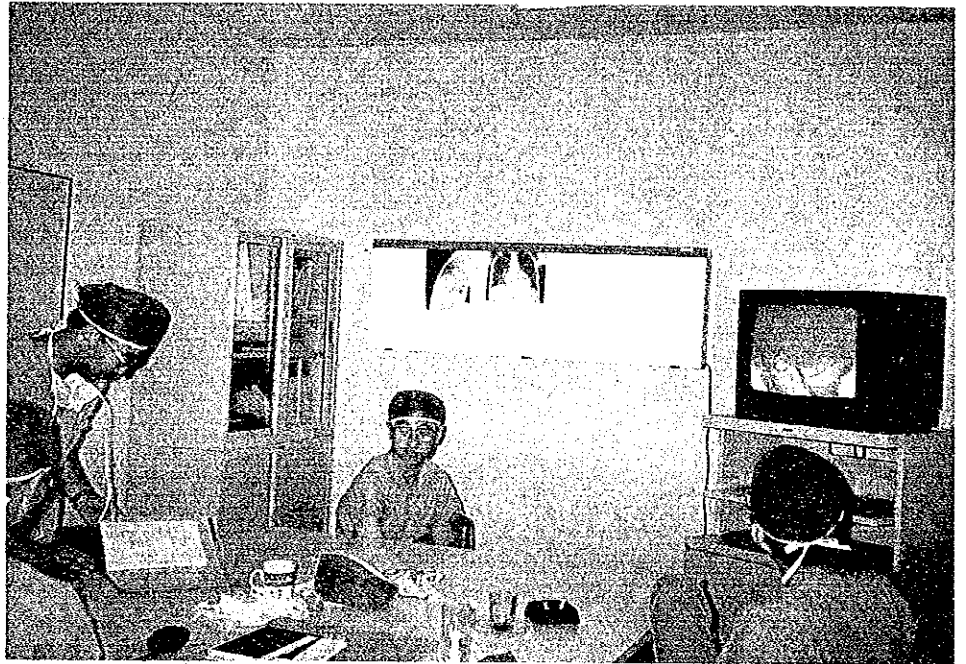
国際協力事業団

23231



5 F 手術室での心臓手術

村上専門家（左端）から
説明を受ける調査団

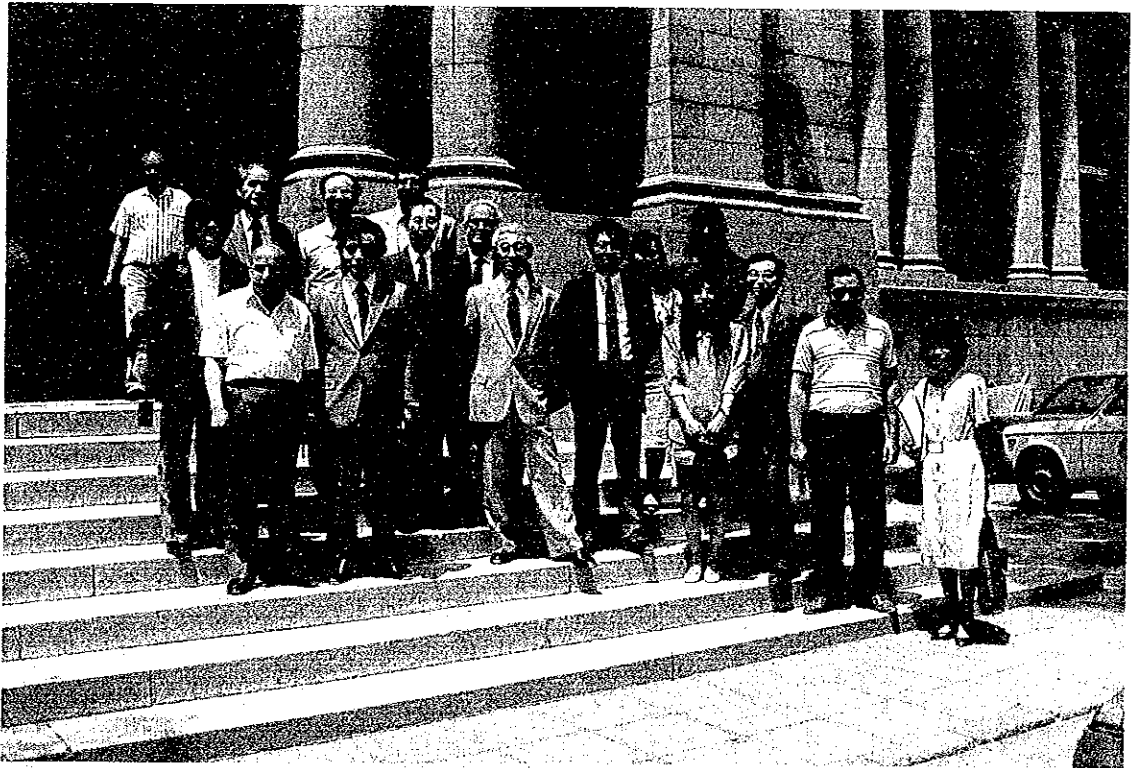


エジプト側関係者との協議



ミニッツ署名・交換

(カメル委員長(左)と奥山団長(右)、小児病院内会議室にて)



調査団及びプロジェクト関係者

序 文

昭和58年7月から6年間にわたり、協力を実施してきた「カイロ大学小児病院プロジェクト」が平成元年6月末に終了することに伴い、エジプト政府は同プロジェクトのさらなる成果を得るべく、小児循環器疾患を中心とする小児医療技術の向上を目的とした同プロジェクトの第Ⅱ期協力について要請越した。

右要請を受け、国際協力事業団は平成元年6月に実施協議調査団を派遣し、同調査団とエジプト側関係機関との間で本件実施に係る討議議事録（R/D）及び暫定実施計画（T S I）を署名・変換し、平成元年7月から5年間にわたる協力を実施する運びとなった。

今般、本プロジェクトの進捗状況の把握及び今後の技術協力計画策定のため、昭和大学医学部奥山和男教授を団長とする計画打合せ調査団を平成3年4月21日から5月1日まで現地に派遣した。

本報告書は、右計画打合せ調査団が実施した調査及び協議内容とその結果につき取り纏めたものである。

ここに本調査にあたり、御協力を賜った関係各位に対し、深甚なる謝意を表するとともに、今後とも本件協力事業の成功のため、更なる御支援をお願いする次第である。

平成3年6月

国際協力事業団

医療協力部長 曾 我 絃 一

目 次

1. 計画打合せ調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	2
2. 要 約	4
3. 暫定実施計画の進捗状況	5
3-1 協力部門別活動	5
3-2 建設施設等	7
3-3 専門家派遣	8
3-4 研修員受入れ	11
3-5 資機材供与及び利用状況	13
3-6 ローカルコスト負担事業	43
4. 暫定実施計画（T S T）及び詳細年次計画	44
5. 実施運営上の問題点	54
6. 調査団所見	63
7. 合同委員会の協議結果	64
7-1 経緯と概要	64
附属資料	
1) ミニッツ	67
2) カイロ大学小児病院スタッフ名簿	78
3) カイロ大学小児病院1990年病院統計	81

1. 計画打合せ調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

カイロ大学は百数十年の伝統を有し、医学部はアフリカ・中近東諸国の医学にも多大な影響を及ぼす中心的存在であるが、本学部附属小児病院に対して、我が国は無償資金協力による病院建設に続き、昭和58年度より6年間にわたるプロジェクト方式技術協力を実施してきた（最後の1年間はフォローアップ協力）。

平成元年6月末に同プロ技協の協力期間が終了することに伴いエジプト政府は同病院のさらなる発展のために、元年7月以降5年間に及ぶ同プロジェクトの第Ⅱ期の実施について要請越した。要請の内容は小児循環器疾患を中心とする小児医療技術の向上を目的とするものであった。これに対し我が方は昭和63年6月に事前調査団を派遣し、先方スタッフの配置状況・技術レベル等を調査し、平成元年6月派遣の実施協議調査団において、次の各分野に係る技術協力を実施することで最終的に取纏めを行った。

①小児心臓疾患②小児外科・内科（リハビリテーション、理学療法を含む）③小児看護④臨床検査⑤ICU⑥医療機器保守⑦病院管理等。

平成元年7月に第Ⅱ期の協力が開始されて以来、平成3年3月末までの間に長期専門家9名、短期専門家25名が派遣され、12名の研修員受入れが行われた。また機材供与も約1億5千万円の購送手続が済み、協力は順調に進捗しているところである。

かかる経緯を受け、今回計画打合せ調査団を派遣するにあたり、以下の内容を中心に調査・協議を行うことを目的とした。

- 1) 小児心臓手術、心臓カテーテル、ICU等の各分野における技術移転の進捗状況の把握
- 2) 平成3年度を中心とする今後のプロジェクト実施計画（専門家派遣、研修員受入、機材供与）の内容に係る策定
- 3) プロジェクトのさらなる円滑な運営のため必要に応じ改善されるべき事項（施設の活用化、帰国研修員の配置等）についての検討

1-2 団員構成

団長	奥山 和男（総括）	昭和大学医学部教授
団員	岡松 孝男（小児外科）	昭和大学医学部教授
団員	高場 利博（小児循環器）	昭和大学医学部教授
団員	数馬 博（小児心臓外科）	昭和大学病院外科助手

団員 黒澤まり子 (小児看護) 昭和大学病院看護部看護婦

団員 東城 康裕 (業務調整) 国際協力事業団医療協力部医療協力課職員

1-3 調査日程

4月22日(月)	19:25	AF108便にてカイロ着
23日(火)	8:45	日本大使館表敬
	10:00	JICAエジプト事務所表敬
	11:30	カイロ大学視察
	13:00	カイロ大学小児病院視察
	15:00	派遣中長期専門家と打合せ
24日(水)	10:00	カイロ大学総長表敬 (団員の一部はカテーテル検査を視察)
	12:00	カイロ大学小児病院にてエジプト側関係者との協議
	17:00	JICAエジプト事務所員と打合せ
25日(木)		会議議事録について検討、作成
26日(金)	7:00	岡松団員AF119便にてカイロ発 資料整理
27日(土)	9:00	心臓手術の経過を視察
	11:00	カイロ大学小児病院長と会議議事録について協議
28日(日)	9:00	エジプト側関係者との最終協議
	10:30	会議議事録署名・交換
	12:00	JICAエジプト事務所へ調査結果報告
	13:30	日本大使館へ結果報告
29日(月)	7:25	奥山団長、高場、数馬、黒澤団員BA154便にてカイロ発
30日(火)	8:00	東城団員OA3461便にてカイロ発

1-4 主要面談者

(エジプト側関係者)

Prof. Dr. Hussein Kamel bahaa El Din (Director of CUPH)

Prof. Dr. Fadia Mohmoud (Cardiology)

Prof. Dr. Nabil El Ghany (Pediatrics)

Mr. Muneir Hafez (Chief Administrator)

〔日本側関係者〕

日本大使館

山田 中正 (大使)

JICAエジプト事務所

岩口 健二 (事務所長)

川添 浩正 (事務所員)

小林 尚行 (事務所員)

カイロ大学小児病院プロジェクト専門家

伊佐 二久 (チームリーダー)

金川 修造 (小児集中治療)

村上 厚文 (小児心臓外科)

牛山 雅英 (視聴覚教育)

丸山 昌明 (医療機器保守管理)

根反 小春 (小児看護)

柴田 浩子 (小児看護)

河村 恵子 (業務調整)

2. 要 約

本計画打合せ調査団は平成3年4月21日から5月1日までの期間でエジプト国を訪問し、カイロ大学小児病院にてエジプト側関係者と技術協力計画について協議を行うとともに、心臓手術やICUを視察し、技術移転の進捗状況について確認を行った。

技術協力計画についてであるが、専門家派遣に関しては派遣中の8人の長期専門家により順調に技術指導が行われていたが、分野によっては早急に後任者の派遣時期の調整、もしくは人選を行う必要があることを確認した。

研修員に関しては日本での研修を終えた医師、看護婦の活動状況を視察したが、研修の成果が随所に生かされていた。

今後來日が予定されている研修員についても、効果的な研修を行い、帰国後は望ましい配置のもと十分に研修成果が発揮されるよう日・エ双方の関係者による努力、配慮が重要と思われた。

供与機材に関しては第Ⅱ期協力の開始後送付された医療機器、視聴覚機器、及び保守部品等の引取りが進み、院内に備えられており概ね問題はないと思われたが、エジプト側による扱いが必ずしもまだ十分ではない機材も一部に見受けられた。これらの殆どは引取りから時間的にまだ間もないものであり、必要に応じ専門家による指導を交えながらさらに効果的に活用されることが期待される。

専門的な活動については今回心臓カテーテル検査、心臓手術、ICU等を視察したが、その結果として記録の記入、補完などの細かい部分については今後とも引続き長期専門家を中心に継続的な指導が必要と思われたが、全体的にはいずれの分野も数年前と比べて進歩していた。

本プロジェクトにおいて移転されつつある技術がさらに浸透し、今後ともエジプトにおける小児保健医療の向上に大きく寄与することを心から期待したい。

3. 暫定実施計画の進捗状況

3-1 協力部門別活動

1) 小児心臓外科部門

4月27日、新しく増設された5階手術室で開心術を視察した。この手術室は入口で履物を取り替えて入室するようになっており、清潔不潔区域は守られていた。ロッカールームは整頓されていた。室温は全体に15℃以下に低温管理されており、大変良いことであるが、各室での室温調節は不可能である。手術室は二部屋あり、スペース的には十分で、一方では脳外科手術が行われていた。

心臓手術は5才の心室中隔欠損症症例で術者は Dr. Ezz であった。手術手技に関してはやや粗雑な点もみられたが、ほぼ満足できる水準であり、ある程度の経験を有していると感じられた。体外循環は専門職と思われる担当医が操作していたが、経験に頼っての操作部分が多く、経過の記録用紙への記入もあまり行わないようであり、充填液の組成、充填液温の調整なども勤に頼っているように思われた。記録の記入については村上専門家がその都度指導しているようであるが、習慣的に行われるようにするには継続的な指導が今後とも必要と感じられた。なお器具の操作にはかなり慣れている様子であり、人工心肺器械にセットされているモニター(ex:心肺回転時間、心停止時間など)類はうまく作動させていた。

麻酔も体外循環と同様で、麻酔経過の記録用紙は記入されていなかった。やはり経験に基づいた麻酔という感じであり、輸液量、輸液速度などにも今少し配慮が欲しいという印象を受けた。

看護部門では Miss Karimaが指導をとっており、大きなトラブルはなかったが、他の看護婦との間に実力的に差があるように感じた。

開心術は現在までに45例が行われて、2例の手術死亡であったと報告を受けた。比較的手術リスクの低いASD、VSDが手術対象であるが、エジプト国において小児の開心術を行っている施設は他にはなく、本プロジェクトで大きな発展をとげた分野である。村上専門家の努力に敬服するが、心臓手術は麻酔、体外循環、術前診断、術後管理など各分野の協力、協調がないと進歩しない分野であり、その意味から記録を残し、習慣にとられない方法の確立が望まれる。

2) 心臓カテーテル検査部門

4月24日午前中にカテーテル検査実施中のところを視察した。カテーテル検査室は病院の5階に新設されているが、入室にはガウン、帽子、マスク着用とスリッパにはきかえることが励行され、放射線照射中はプロテクター着用も行われていた。

術者は Fadia教授で看護婦1名が手洗いで入っていた。周囲に看護婦3名（うち2名は研修員）、小児循環器科医1名、麻酔科医1名、放射性技師2名のメンバーであった。また村上専門家、柴田専門家がそれぞれの分野で指導にあたっていた。

患者は5才の青色症で、全身麻酔下（挿管はしていない）に検査は施行されていたが、診断が難しい症例であったため、約3時間を要した。しかし検査は Fadia教授を中心に全体的によく統計がとれており、数回の造影検査が行われたが、毎回 Fadia教授はカテーテルの位置、体位、造影剤の量などの suggestion を求め、造影後はそのビデオを見ながら discussionをするという積極的な姿勢がみられた。また記録も担当医が控えており、解剖学的にはかなり正確な病態が記録されていた。しかし血液ガス分析に関しては、やや不正確かと思われる点もあった。

最近ルーチンに3～4例/週のカテーテル検査が行われているとのことで、スタッフ全体に前向きな姿勢がみられ、本検査開始からまだ1年弱の経過ではあるが、大きく飛躍した分野と思われた。

これには放射線指導の松本専門家（1990.6.11～1990.9.18派遣）、中澤専門家（1990.9.1～1990.10.29派遣）、及びカテーテル検査指導の石澤、本橋専門家（両名とも1990.9.1～1990.10.21派遣）ら日本からの短期専門家と村上専門家、を中心とした長期専門家の指導が大きな成果をあげたものと思われる。

3) ICU部門

4階と5階のICUを視察した。4階のICUでは Dr. Beleidyが回診中であり、主として内科の患者が多かった。心疾患患者も入院しており、診断、治療について活発な discussionが行われ、手術適応に関しても外科医との contactはとれているようであった。来日した研修員の数人は4階のICU勤務となっており、数年前よりも診断、治療、教育面において進歩のみられる分野である。

5階のICUは心臓手術後と脳外科術後の患者が入室していた。敗血症となった乳児動脈管開存症の1例を除いて全例安定した術後経過と思われた。このICUでは経過記録用紙に記入があり、大変良いことと思われ、このような習慣をつけることが成績の向上につながると確信する。但し、ICUの Dr. の話によると術中の記録が届かないので、どのような手術を行ったのか、問題点は何か、などの不明の点が多いため、手術記録、麻酔記録、心肺記録は是非患者とともに入室して欲しいとの要望があり、改善するべきであろう。

4) 小児看護部門

看護部門については調査団滞在中に Rafahia前総婦長と話し合いを持つ機会があり、小児心臓疾患に関する知識、技能を備えた看護婦を育てていくこと、及び講義と実技指導を含んだワークショップを行うことについて希望が出された。これに対し調査団側はワークショップに関しては内容を検討中であること、及び人選に時間が必要であることについて説明を行った。

現在看護部門では根反専門家がICUを、柴田専門家が手術室を指導している。病院の看護婦にはHIN出身者が少ないためか初歩的な知識からの指導が必要とされる場面が多く、日本側専門家の苦労も少なくないようである。室内消毒、物品管理、記録の測定など今後も継続的な指導が必要と思われる。

またエジプト側との協議時には看護管理専門家の派遣に関する希望が出された。派遣の期間や人選など調整すべき点が少なくないが、今後引き続き検討を行うことが必要と考えられた。

5) 視聴覚教育部門

牛山専門家が Mr. Abudella に対し指導を行っていた。調査団派遣前に携行機材で送付したビデオデッキ類をはじめ、種々の視聴覚機器が病院6階の一室に備え付けられており、順調に活用されていた。毎年の各種ワークショップの記録や病院紹介のビデオをはじめ豊富な在庫が保管されており、第1期協力当時の牛山専門家の技術指導の財産に触れることができた。

6) 医療機器保守管理

医療機器保守については丸山専門家により指導が行われており、現在の活動としては病院の技師に対する指導に加え、カイロにある代理店の質を向上させるべく働きかけている状況とのことであった。

3-2 建設施設等

平成元年6月の実施協議調査団派遣時には進行中であった病院の5階及び6階の増築部分の工事はすでに完工し、機材の移転、据付も済み、順調に活動が行われていた。特に5階の手術室では前節で記したとおり円滑に技術移転が進捗しつつあり、また6階では視聴覚教育、医療機器保守管理の専門家がそれぞれ備えられた機材を活用し、カウンターパートに対し指導を行っていた。また6階の会議室も今回のエジプト側との協議時に使用されるなど有効に使われている。しかしながら6階の図書室のようにまだ十分に使用されていない部屋も一部見受けられるので、今後さらなる効果的な活用が行われることを期待したい。なお参考まで

に完工に至るまでの経緯を以下に記しておく。

(無償資金協力による実施経緯、実績)

1986年 7月 事前調査

10月 基本設計調査

1987年 9月 交換公文署名 国債第1期 11,44億円供与(施設)

1988年 1月 交換公文署名 6,44億円供与(機材)

1988年 9月 交換公文署名 国債第2期 9,81億円供与(施設)

1987年 9月～1990年 3月

コンサルタント日建設計、建設業者鹿島建設、機材納入業者日商岩井により施行・納入
以上により小児心臓外科、ウルトラクリーン外科手術、リハビリテーション等の各部門の施
設・機材が既存4階建上部に増築、設置された。

3-3 専門家派遣

第2期協力開始時から本調査団派遣時までに長期専門家9名、短期専門家のべ25名が派遣された。その詳細な実績は以下に示すとおりである。

長期専門家派遣実績

指導科目	専門家氏名	派遣期間	所属先
チームリーダー	伊佐 二久	1988. 6. 6. - 1991. 6. 30.	無
業務調整	河村 恵子	1988. 8. 31. - 1991. 8. 30.	聖マリア病院
小児集中治療	金川 修造	1989. 8. 18. - 1991. 8. 17.	国立病院医療センター
視聴覚教育	牛山 雅英	1989. 12. 6. - 1991. 12. 5.	無
医療機器保守管理	丸山 昌明	1988. 9. 5. - 1989. 9. 4. 1990. 1. 29. - 1992. 1. 28.	株式会社メディサン
小児心臓外科	村上 厚文	1990. 2. 16. - 1991. 8. 15.	昭和大学
小児麻酔	伊藤 隆	1990. 3. 30. - 1991. 3. 29.	昭和大学
小児看護	根反 小春	1990. 7. 7. - 1991. 7. 6.	昭和大学
小児看護	柴田 浩子	1990. 7. 7. - 1991. 7. 6.	昭和大学

短期専門家派遣実績

指導科目	専門家氏名	派遣期間	所属先
小児看護	石野 徳子	1989.10. 2. - 1989.12.30.	昭和大学
小児看護	工藤 政枝	1989.10. 2. - 1989.11. 1.	神奈川県立こども医療センター
小児麻酔	柳下 芳寛	1990. 1.12. - 1990. 2. 3.	国立病院医療センター
小児外科ワークショップ			
小児外科	岡松 孝男	1990. 2.16. - 1990. 3. 2.	昭和大学
小児外科	五味 明	1990. 2.16. - 1990. 3. 2.	昭和大学
小児麻酔	島田 千里	1990. 2.16. - 1990. 3. 2.	昭和大学
小児看護	伊藤 久美	1990. 2.16. - 1990. 3. 2.	昭和大学
小児看護	田島 貴子	1990. 2.16. - 1990. 3. 2.	昭和大学
小児看護ワークショップ			
小児看護	立山 恭子	1990. 2.26. - 1990. 3.16.	無
小児看護	石野 徳子	1990. 2.26. - 1990. 3. 9.	昭和大学
視聴覚機器据付	森 壽彦	1990. 3.15. - 1990. 4. 2.	AVCC
視聴覚機器据付	岡田 保	1990. 3.15. - 1990. 4. 2.	AVCC
シネアングロ	松本 健	1990. 6.11. - 1990. 9.18.	株式会社メディサン
心カテチーム			
心臓カテーテル	石澤 瞭	1990. 9. 1. - 1990.10.21.	国立小児病院
小児看護	本橋 貞子	1990. 9. 1. - 1990.10.21.	国立小児病院
放射線	中澤 靖夫	1990. 9. 1. - 1990.10.31.	昭和大学
機材調整	岩崎 勉	1990. 9.10. - 1990. 9.30.	株式会社東芝メディカル
病歴管理	高橋 政祺	1990.12. 1. - 1990.12.16.	杏林大学
病歴管理	高井 恵之	1990.12. 1. - 1990.12.16.	杏林大学
小児外科ワークショップ			
小児外科	岡松 孝男	1990.12.12. - 1990.12.24.	昭和大学
小児外科	五味 明	1990.12.12. - 1990.12.24.	昭和大学
小児看護	佐々木 房子	1990.12.12. - 1990.12.24.	昭和大学
小児看護	安田 美華	1990.12.12. - 1990.12.24.	昭和大学
呼吸器	濱野 三吾	1991. 1.12. - 1991. 1.20.	国立療養所南横浜病院
医療機器操作	矢澤 直行	1991. 1.14. - 1991. 3. 2.	昭和大学

3-4 研修員受入

第2期協力開始時から本調査団派遣時までに医師6名、看護婦5名、技師1名計12名の研修員の受入が行われた。その詳細な実績は以下に示すとおりである。

研修員受入実績

研修科目	研修員氏名	研修期間	受入れ機関
小児ICU	Dr. Nabil Abd El Ghany	1990.1.31.-1990.8.2.	昭和大学、聖マリア病院
小児看護	Ms. Afaf Hosny Ismail Ahmed	1990.2.6.-1990.10.24.	昭和大学、聖マリア病院
小児看護	Ms. Nahed Aly El Sayed Abd El Kader	1990.2.6.-1990.10.24.	昭和大学、聖マリア病院
小児ICU	Dr. Mohamed Hesham Sayed Ahmed Ebraheem	1990.3.27.-1990.9.29.	昭和大学、聖マリア病院
小児ICU	Dr. Sherif Mahmoud Abdel-Allim	1990.3.27.-1990.9.29.	昭和大学、聖マリア病院
小児看護	Ms. Etemad tonsi Al-Sayed	1990.3.27.-1990.12.9.	東京女子医科大学、国立小児病院
医療機器保守	Mr. Mohamed Sadek Mohamed	1990.5.30.-1991.4.3.	メディサン、聖マリア病院
小児ICU	Dr. Mohamed Amr Abdelsabour Shahin	1990.10.26.-1991.4.29.	昭和大学、国立小児病院、
小児ICU	Dr. Ahmaed Mohamed El Sawy Zanaty	1990.10.26.-1991.4.29.	昭和大学、国立小児病院、聖マリア病院
小児ICU	Dr. Mohamed Gamal Ahmed Shouman	1990.11.28.-1991.4.29.	昭和大学、国立小児病院、聖マリア病院
小児看護	Ms. Abdel Hamed Mohamed Mervat	1990.11.28.-1991.9.2.	聖マリア病院、昭和大学
小児看護	Ms. Mohamed Abdo Khalil Eman	1990.11.28.-1991.9.2.	聖マリア病院、昭和大学

3-5 資機材供与及び利用状況

第2期協力開始時から調査団派遣時までに約1億5千万円相当の供与機材購送手続が行われ、特に元年度に供与した機材はその殆どが引取り、据付けが完了し、円滑に使用されはじめていた。また2年度分に関しては一部を本邦から送付し、一部は現地調達にて購入した。本邦送付分については輸送手続中であったが、現地購入分についてはすでに使用されはじめていた状態であった。以下に購送済の機材名及び使用について示すこととする。

1) 平成元年度供与機材

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	保健医療協力事業によるエジプト国 カイロ小児病院向け供与機材		
1	自動血球計数器 Model: MEK-4500A	日本光電	1
	付属品:		
	1) 電源コード W (1)		
	2) アース線 (1)		
	3) ヒューズ (タイムラグ) (2)		
	4) 試料ビン立て (1)		
	5) 配管チューブ 0.4m (3)		
	6) 予備チューブ 1.1m (1)		
	7) 希釈液フィルターセット (2)		
	8) ヘモグロビンフィルター (2)		
	9) 希釈液 2ℓ (1)		
	10) 洗浄液 1ℓ (1)		
	11) 排液ビン 2ℓ (1)		
	12) 希釈液コック (1)		
	13) エクセルピペットチップ (1)		
	14) 記録紙 QWGO-2 (1)		
	15) 本体カバー (1)		
	16) ディスポーザブルピペーターセット (1)		
	17) 採血ビン (10)		
	18) 赤血球・血小板コントロール (1)		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	19) ディスポーザブルビーカ (20)		
	消耗品:		
	1) 溶血ヘモグロビン試薬 MEK-531 6本/箱		6
	2) サンプルビーカー MEK-407 3,000ヶ/箱		1
	3) 希釈液 MEK-510 18ℓ/箱		1
	4) 洗浄液 MEK-520 5ℓ/瓶		1
	5) 標準血球 MEK-434 50CCX6本/箱		1
	6) 採血ビン MEK-435 1,000ヶ/箱		1
	7) 記録用紙 QW60-2 5巻/箱		6
2	A. 人工呼吸器 (ベンチレーター) Model: New Port E-100A	NMI社	3
	特別付属品:		
	1) ホースヒーターアッセンブリー		9
	2) 呼吸回路 (学童・成人用)		9
	3) スペアアウトレット (院内パイ ピングシステム接続コネクター 付耐圧管) Air/O ₂ 用		3
	B. 呼吸回路 (子供用) J-NH-335W		50
	C. 加温加湿器カートリッジ Fisher & Paykel 900MR-310 18ヶ/箱		80

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
3	麻酔用ベンチレーター Model: ナフィールド 200 小児用ニュートンバルブ付	ペンロン	1
4	自動輸液ポンプ Model: P-300 付属品: 1) 小児定量輸液セット (2) 2) 輸液セット, ボトル用 (2) 3) " , ガートル用 (2) 特別付属品: 1) スタンド OP-7219 2) 輸液セット, ボトル用 20本/箱 3) 小児定量輸液セット	アトム	8 8 25 50
5	輸液ポンプ Model: 235 特別付属品: 1) テルモ注射器 20ml 50本/箱 2) " 30ml 50本/箱 3) " 50ml 25本/箱	アトム	20 200 120 160

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
6	細動除去装置	日本光電	1
	Model: TEC-7200K		
	特別付属品:		
	1) 小児用内用パドル ND-723V, $\phi 35\text{mm}$		1
	2) " ND-725V, $\phi 55\text{mm}$		1
	3) " ND-727V, $\phi 75\text{mm}$		1
	4) 架台 KD-701V		1
	5) 処置電極 Y-250 250ヶ/箱		2
	6) 表皮表面電極		
	NS-111u, 112u, 113u, 114u, 115u 各 1ヶ		5
	7) 固定用テープ $\phi 20\text{mm}$ 300ヶ/箱		10
	8) Cardio Cream 100gX 2本/箱		10
	9) 記録用紙 FOS50-3-100, 50mmX20m		100
	10) Connection Cord JC-002P		1
	11) ペースト 100gX5本/箱		2
	12) 電極用電線 BR-546S		1
7	酸素飽和度計測機能付き心拍計	Ohmeda 社	3
	Model: BIOX3740		
	特別付属品:		
	1) イヤープローブ		3
	2) フレックスIIプローブ		9

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
8	頭部 CT スキャナー用 X線管装置 Model: DX-130・27-10	島津	1
9	食道拡張器 タッカー逆行ブージー 12Fr~28Fr 9本組	永島医療	2
10	特殊発光管 FL 20 BW-NU 4本/箱	アトム	38
11	特殊発光管 手洗水殺菌装置 Type 3用 U.V. ランプ	アコマ	36
12	蒸留水製造装置 Model: WG25 付属品: 給水ホース, 排水ホース, 銜石洗浄剤, イオン交換樹脂, 活性炭フィルター 特別付属品: 1)給水口ユニット 253686 2)蒸留水タンク用エアフィルター 253074	ヤマト科学	1 1 1

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	3) 架台 253177		1
	4) 交換用イオン交換樹脂 ケース付		10
	5) 交換用原水フィルター		10
13	鼻咽喉内視鏡	オリンパス	1
	Model: NEF Type P2		
	特別付属品:		
	1) 内視鏡カメラ SCP-10		1
	ボラロイドカメラ アダプター AR-P10		1
	EC-28 セット付		
	2) 医療用 TV 基本ユニット OTV-S2		1
	(PAL 方式)		
	TV アダプター AR-T2		1
	TV モニター PVH-1442QH	SONY	1
	ビデオカセットレコーダー	JVC	1
	BR-6400TR		
	3) キセノン光源装置 CLV-10		1
	スペアキセノンランプ		6
14	保育器滅菌器		5
	CH-5797		
15	SLファイバー照明装置	共栄オリンパス	1
	Model: F1-150T		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
16	患者モニター (手術室用)	日本光電	3
	Model: Lifescope 6 (OEC-6105K)		
	熱書記録器 WT-617PA付		
	特別付属品:		
	1) 血圧トランスデューサーTP-400T		6
	2) 脈波ピックアップ TL-612T		3
	3) 架台 KD-602P		3
	4) 処置電極 X-150 150ヶ/箱		6
	5) 処置電極電線 BR-002P		3
	6) カテーテル SR16-18G 50ヶ/箱		6
	7) " Fr3.5 5本/箱		6
	8) 粘着カラー 20mmφ 300ヶ/箱		6
	9) Cardio Cream 100gX2本/箱		6
	10) 記録用紙 (ロール) PS50-2		60
	50mmX20m		
	11) サーミスタ温度プローブ直腸用 Ysi-401J		6
	12) " 体表用 Ysi-409J		6
	13) 巻取器 WH-617P		3
17	患者モニター (ICU 用)	日本光電	1
	Model: Lifescope 9 (BSM-8302K)		
	構成: Mu-832RK (1)		
	Qi-812P (1)		
	EK-800P (2)		
	サーマルアイレコーダー付		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	特別付属品:		
	1) 架台 KD-801P		1
	2) 処置電極 Y-250 250ヶ/箱		2
	3) 固定用テープ 20mmφ 300ヶ/箱		10
	4) Cardio Cream 100gX2本/箱		10
	5) 記録用紙 FQW 110-3-100		100
	6) 皮膚表面電極		
	NS-111u, -112u, -113u 各 2ヶ		6
18	複合電子走査型超音波診断装置	東芝	1
	Model: SSA-250A-15		
	構成:		
	1) 本体 (1)		
	2) 電子コンベックスプローブ (1)		
	PVE-375H		
	3) セクター電子スキャンプローブ (1)		
	PSE-37H		
	4) 参考信号ユニット (1)		
	UJUR250A		
	5) ノンフェードユニット (1)		
	UINF250A		
	6) 標準付属品 (1式)		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	特別付属品:		
	1)セクター電子スキャンプロブ PSF-50ET		1
	2)フットスイッチ UZFS001A		1
	3)ビデオフリーズ I/F ユニット		1
	4)電源安定器		1
	5)ソノプリンター TP-8300		1
	6)ソノプリンター用紙 U-215		10
	6巻/箱		
	7)超音波ゼリー 5L		2
	8)V.T.R. 1/2" VHS (リモコン付)		1
	BR-6400		
19	患者モニター	日本光電	2
	Model: Lifescope 6 (OEC-6201K)		
	熱書記録器, 送信器付		
	特別付属品:		
	1) 架台 KD-602P		2
	2) 処置電極 Y-250 250ヶ/箱		4
	3) 固定用テープ 20mmφ 300ヶ/箱		10
	4) Cardio Cream 100gX2本/箱		10
	5) 記録用紙 PS50-2 50mmX20m		100
	6) ECG モニターケーブル BR-546S		2
	7) 電池 SUM-3(R6) 1.5V 4ヶ/セット		100
	8) 送信機 ZB-313P		1
	9) バッテリーパック LCS 2021 NK		2
	10) 巻き取り器 WH-617P		2

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
20	全自動 PH/血液ガス分析装置	パ・コニツ	1
	Model: 178		
	特別付属品:		
	1) PH 7.382 標準バッファ 475ml		18
	2) PH 6.838 " 475ml		12
	3) 濃縮洗浄液 125mlX6本/箱		8
	4) P O ₂ 電極用電解液 475ml		1
	5) PCO ₂ " 475ml		1
	6) 4 モル KCl 溶液 125ml		2
	7) 除蛋白洗浄液 125mlX6本/箱		2
	8) メンブランキット (PH, PO ₂ , PCO ₂ 用)		6
	9) PH 本電極/ 比較内部電極		1
	10) P O ₂ 電極		1
	11) PCO ₂ "		1
	12) 採血用キャピラリーキット		5
	100 μ lX100本/箱		
21	(I) E0ガス滅菌装置	サクラ精機	1
	Model: E0A-150		
	缶体内寸: 500X500X650mm		
	サイクルオートマチック式		
	水封式真空ポンプ付		
	エアレーション機能式		
	高性能電子式圧力記録計付		
	(コントローラー220V単相, 真空ポンプ380V三相)		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	特別付属品:		
	1)扉パッキン		2
	2)記録紙 15冊/箱		2
	3)記録計用インクパット 5ヶ/箱		4
	(Ⅱ) エアーレーター	サクラ精機	1
	Model: EGF-3501		
	内寸: 690X1,070X465mm		
	扉・窓-強化ガラス		
	特別付属品:		
	1)メインフィルター 7D-110		2
	2)プレフィルター 120X120mm		5
	(Ⅲ) 1) E0セルフスキャンリーダー	〃	1
	Model: NX-003		
	2) E0セルフスキャンリーダー		10
	バッジホルダー NX-001		
	(一式につき: バッジ22枚/箱, ホルダー 2箱)		
	(Ⅳ) 酸化エチレンガスボンベ		3
	10Kg ガス入り		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
22	腹腔鏡	オリンパス	
	構成:		
	1)A-5308 Operating Telescope(5mm Non-Insulated Channel,0 Deg.)		1
	2)A-5203 Insulated Sheath for 10mm Dia. Telescope		1
	3)A-5224 Trocar with triangular tip		1
	4)A-5246 Button Electrode 5mm/450mm		1
	5)A-5247 Knife Electrode 5mm/450mm		1
	6)A-5248 Hook Electrode 5mm/450mm		1
	7)A-0130 Electrode Cable for OLYMPUS HF-Unit		1
	8)A-5249 Tubal Coagulation Forceps 5mm/450mm		1
	9)A-3072 Light Guide Cable		1
	10)Electro Surgical Unit, UES-10		1
23	輸液ポンプ	アトム	10
	Model: 235		
	特別付属品:		
	1)テルモ注射器 20ml 50本/箱		100
	2) " 30ml 50本/箱		50
	3) " 50ml 25本/箱		60

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
27	自動車臨床分析装置		1式
	CL-7000		
	構成：		
	1)本体 CL-7000		1
	2)軟水装置 DC-542S		1
	3)定電圧装置		1
	4)スペアパーツ 消耗品セット		1
	◦フレキシブルルスマカード		(2)
	◦シヤクノズル Assy		(3)
	◦チューブ Assy R1		(1)
	◦液体センサーケーブル		(1)
	◦ソレノイド S-D-112-A-DC-24		(1)
	◦フレキヒーター IH-1-150		(1)
	◦サーモモジュール Assy		(1)
	◦循環チューブ Assy		(1)
	◦チェックバルブ		(3)
	◦バルブ Assy AB-21		(1)
	◦チェック弁 CV1/4		(1)
	◦CPU プリント Assy		(1)
	◦FDD CRT プリント Assy		(1)
	◦Di/Oプリント Assy		(1)
	◦白熱ランプ AC284		(1)
	◦パワースイッチ Assy		(1)
	◦ブレーカー BJS-30-20-942		(1)
	◦リレー G4J-2242T-US		(1)
	◦ヒューズ 2A		(5)
	◦ヒューズ 3A		(5)
	◦ヒューズ 8A		(5)

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	◦CRT プリント Assy		(1)
	◦ノズルチップ Assy(洗浄用)		(2)
	◦ノズルチップ Assy(水切り用)		(2)
	◦液面センサー Assy		(1)
	◦サーミスタ		(1)
	◦プリアンププリント Assy		(1)
	◦メインアンププリント Assy		(1)
	◦ケーブルアンプシールド		(1)
	◦フィルタ		(5)
	◦反応キュベット Assy		(3)
	◦キュベットセル		(20)
	◦ホトメータプリント Assy		(1)
	◦ホトメータケーブル Assy		(1)
	◦ケーブルホトメータ B		(1)
	◦バルブ Assy		(1)
	◦バルブ Assy AB41		(1)
	◦バルブ Assy HTV-31		(2)
	◦ピペッタノズル		(3)
	◦シールドジョイント SH6-1020		(3)
	◦レリーズ		(1)
	◦ピペッタパッキンAssy, ピペッタ用		(2)
	◦ピペッタパッキンAssy, ディスペンサ用		(5)
	◦バルブ Assy		(3)
	◦フレヤーフィッティング		(2)
	◦テフロンチューブフレヤー		(2)
	◦ハーフユニオン Assy		(2)
	◦Oリング P5 (5ヶ/組)		(2)
	◦ディスペンサ A Assy		(1)

5) CL-7000用試薬

項目名 製品番号・製品名	包数単位	測定回数	数量
1. Reagents for the determination of Albumin (ALB)			
703-421-R1 IATROFINE ALB (composition)	45ml×4	450	2
703-7233 ALB R-1 (Color solution)	45ml×4		
2. Reagents for the determination of Amylase (AMY)			
703-111-R1 IATROFINE AMY rate (composition)	set(20ml×5)	357	2
703-1111 AMY R-1A (Enzyat reagent)	for 20ml×5		
703-1112 AMY R-1 (Enzyat reagent solvent)	20ml×5		
703-111-R2 IATROFINE AMY rate (composition)	set(15ml×4)	600	1
703-1113 AMY R-2A (Substrate)	for 15ml×4		
703-1114 AMY R-2 (Substrate solvent)	15ml×4		
3. Reagents for the determination of Alkaline Phosphatase (ALP)			
703-051-R1 IATROFINE ALP rate (composition)	43ml×3	403	4
703-0511 ALP R-1 (Suffer solution)	43ml×3	525	3
703-051-R2 IATROFINE ALP rate (composition)	set(21ml×2)		
703-0512 ALP R-2A (Substrate)	for 21ml×2		
703-0512 ALP R-2 (Substrate solvent)	23ml×2		
4. Reagents for the determination of Calcium (Ca)			
703-621-R1 IATROFINE Ca (composition)	21ml×6	393	20
703-6211 Ca R-1 (Suffer solution)	21ml×6		
703-621-R2 IATROFINE Ca (composition)	11ml×4	550	15
703-6212 Ca R-2 (Color solution)	11ml×4		
5. Reagents for the determination of Total Cholesterol (T-CHO)			
703-211-R1 IATROFINE T-CHO (composition)	set(39ml×3)	585	3
703-2111 T-CHO R-1A (Easyae reagent)	for 39ml×3		
703-2112 T-CHO R-1 (Easyae reagent solvent)	39ml×3		
703-211-R2 IATROFINE T-CHO (composition)	set(39ml×3)	585	3
703-2111 T-CHO R-1A (Easyae reagent)	for 39ml×3		
703-2112 T-CHO R-1 (Easyae reagent solvent)	39ml×3		

項目名 製品番号・製品名	包数単位	測定 回数	数量
6. Reagents for the determination of Choline Esterrase (Ch-E)			
703-091-R1 IATROFINE Ch-E rate (composftion)	43ml × 3	403	3
703-0911 Ch-E R-1 (Color solution)	43ml × 3		
703-091-R1 IATROFINE Ch-E rate (composftion)	set(29ml × 2)	725	2
703-0912 Ch-E R-2A (Substrate)	for 29ml × 2		
703-0913 Ch-E R-2 (Substrate solvent)	29ml × 2		
7. Reagents for the determlnation of Creation Kinase (CK)			
703-081-R1 IATROFINE CK rate (composftion)	set(42ml × 3)	393	2
703-0811 CK R-1A (Enzyat reagent)	for 42ml × 3		
703-0812 CK R-1 (Enzyat reag solvent)	42ml × 3		
703-081-R2 IATROFINE CK rate (composftion)	set(15ml × 3)	562	1
703-0813 CK R-2A (Substrate)	for 15ml × 3		
703-0814 CK R-2 (Substrate solvent)	15ml × 3		
8. Reagents for the determlnation of Glucose (GLU)			
703-611-R1 IATROFINE GLU (composftion)	set(42ml × 4)	525	3
703-6111 GLU R-1A (Enzyat reagent)	for 42ml × 4		
703-6112 GLU R-1 (Enzyat reag solvent)	42ml × 4		
703-051-R2 IATROFINE ALP rate (composftion)	21ml × 2	525	3
703-6113 GLU R-2 (ATP solation)	21ml × 2		
9. Reagents for the determlnation of Aspartate Amlnotransferase (AST/GOT)			
703-011-R1 IATROFINE GOT rate (composftion)	set(39ml × 4)	445	20
703-0111 GOT R-1A (Easylae reagent)	for 39ml × 4		
703-0112 GOT R-1 (Substrate solation)	39ml × 4		
703-011-R2 IATROFINE GOT rate (composftion)	21ml × 2	840	15
703-0113 GOT R-2 (α-Ka solation)	21ml × 2		
10. Reagents for the determlnation of Aspartate Amlnotransferase (ALT/GPT)			
703-021-R1 IATROFINE GPT rate (composftion)	set(39ml × 4)	445	20
703-0211 GOT R-1A (Easylae reagent)	for 39ml × 4		
703-0212 GOT R-1 (Substrate solation)	39ml × 4		
703-021-R2 IATROFINE GPT rate (composftion)	21ml × 2	840	15
703-0213 GOT R-2 (α-Ka solation)	21ml × 2		

項目名 製品番号・製品名	包数単位	測定 回数	数量
11. Reagents for the determination of γ-Glutamyl Transpeptidase (γ-GTP)			
703-071-R1 IATROFINE γ-GTP rate (composition)	43ml × 3	403	2
703-0711 γ-GTP R-1 (G-tlyelne solvent)	43ml × 3		
703-071-R2 IATROFINE γ-GTP rate (composition)	set(7 ml × 6)	525	2
703-0712 γ-GTP R-2A (Olluent)	5 ml × 6		
703-0713 γ-GTP R-2 (Substrate solvent)	2 ml × 6		
12. Reagents for the determination of Lactate Dehydrogenase (LDH)			
703-031-R1 IATROFINE CK rate (composition)	set(39ml × 4)	445	10
703-0311 LDH R-1A (KADH)	for 39ml × 4		
703-0312 LDH R-1 (KADH solvent)	39ml × 4		
703-031-R1 IATROFINE CK rate (composition)	21ml × 2	840	5
703-0313 LDH R-2 (Substrate solvent)	21ml × 2		
13. Reagents for the determination of Inorganic Phosphorus (IP)			
RM170-K IATROFINE Pi (composition)		375	25
RM170-1 Pi Enzyat reagent A	for 75ml × 1		
RM170-2 Pi Enzyat reagent solvent A	75ml × 1		
RM170-3 Pi Enzyat reagent B	for 75ml × 1		
RM170-4 Pi Enzyat reagent solvent B	75ml × 1		
RM170-5 Pi Standard solution	5 ml × 1		
14. Reagents for the determination of Total Protein (TP)			
703-411-R1 IATROFINE TP (composition)	45ml × 4	450	3
703-0411 TP R-1 (Color solution)	45ml × 4		
15. Reagents for the determination of Triglycerides (TG)			
703-231-R1 IATROFINE TG (composition)	set(39ml × 3)	585	2
703-2311 TG R-1A (Easylae reagent)	for 39ml × 3		
703-2312 TG R-1 (Easylae reagent solvent)	39ml × 3		
703-231-R2 IATROFINE TG (composition)	set(39ml × 3)	585	2
703-2313 TG R-2A (Easylae reagent)	39ml × 2		
703-2314 TG R-2 (Easylae reagent solvent)	39ml × 2		

<u>項目名</u> <u>製品番号・製品名</u>	<u>包数単位</u>	<u>測 定</u> <u>回 数</u>	<u>数 量</u>
16. Reagents for the determination of Urea (UN)			
703-441-R1 IATROFINE UN rate (composition)	set(21ml×5)	328	15
703-0713 UN R-1A (Easyae reagent)	for 21ml×5		
703-0711 UN R-1 (Easyae reagent solvent)	21ml×5		
703-441-R2 IATROFINE UN rate (composition)	21ml×2	525	10
703-0712 UN R-2 (α-Ke solvent)	for 21ml×2		
17. Reagents for the determination of Uric Acid (UA)			
703-451-R1 IATROFINE UA (composition)	set(43ml×3)	645	3
703-4511 UN R-1A (Easyae reagent)	for 43ml×3		
703-4512 UN R-1 (Easyae reagent solvent)	43ml×3		
703-451-R2 IATROFINE UA (composition)	set(43ml×3)	645	3
703-4513 UN R-2A (Easyae reagent)	for 43ml×3		
703-4514 UN R-2 (Easyae reagent solvent)	43ml×3		
18. Reagents for Assaying Immenoglobulin A (Iga)			
702-821 IATROFINE Iga (composition)		300	1
702-8211 Iga R-1 (pes solution)	35ml×3		
702-8212 Iga R-2 (Anti-Iga serea sola.)	35ml×3		
19. Reagents for Assaying Immenoglobulin G (IgG)			
702-811 IATROFINE IgG (composition)		300	1
702-8111 IgG R-1 (pes solution)	35ml×3		
702-8112 IgG R-2 (Anti-IgG serea sola.)	35ml×3		
20. Reagents for Assaying Immenoglobulin M (IgM)			
702-831 IATROFINE IgM (composition)		300	10
702-8311 IgM R-1 (Anti-IgM serea sola.)	40ml×3		
702-8312 IgM R-2 (pes solution)	40ml×3		
21. Reagents for Assaying Complement C3 (C3)			
702-841 IATROFINE C3 (composition)		205	2
702-8411 C3 R-1 (pes solution)	18ml×4		
702-8412 C3 R-2 (Anti-IgM serea sola.)	18ml×4		

<u>項目名</u> <u>製品番号・製品名</u>	<u>包数単位</u>	<u>測定回数</u>	<u>数量</u>
22. Reagents for Assaying Complement C4 (C4)			
702-851 IATROFINE C4 (composition)		205	2
702-8511 C4 R-1 (Anti-IgM serea sola.)	18ml × 4		
702-8512 C4 R-2 (pes solution)	18ml × 4		
23. Callbrator for IgG, IgA, IgM, C ₃ , C ₄			
RM71-81MX-S Standard serum for IgG, IgA, IgM, C ₃ , C ₄	for 0.5ml × 2	...	3
24. Reagents for Assaying C-Reactive Protein (CRP)			
702-802 IATROFINE CRP(A) (composition)		400	8
702-8021 CRP R-1 (Anti-IgM serea sola.)	35ml × 4		
702-8022 CRP R-2 (pes solution)	20ml × 1		
ST-B01X CRP Serum for callbration	1 ml × 10	...	8
25. Control Serum			
RM100-32 SeraChem Normal Control Serum	5 ml × 12	...	1
RM100-32 SeraChem Abnormal Control Serum	5 ml × 12	...	1
26. Reagents for the determlnation of Creatinine (CRE)			
703-431-R1 IATROFINE CRE rate (composition)	set(44ml × 3)	412	2
703-4311 CRE R-1A (Addltfve solution)	1 ml × 3		
703-4312 CRE R-1 (Alkaline solution)	43ml × 3		
703-431-R2 IATROFINE CRE rate (composition)	21ml × 2	525	2
703-4313 CRE R-2 (Color solution)	21ml × 2		
27. Reagents for the determlnation of Total Bilirubin (T-BIL)			
702-481 IATROFINE T-BIL (composition)		500	1
702-4811 T-BIL R-1 (Proanoter)	40ml × 4		
702-4812 T-BIL R-2 (Color solutionon)	20ml × 6		
702-4813 T-BIL R-2A (Color solutionon)	3 ml × 1		
28. Reagents for the determlnation of Iron (Fe)			
703-311-R1 IATRO Fe (composition)	set(43ml × 3)	412	2
703-3111 Fe R-1A (Reduse reagent)	for 43ml × 3		
703-3112 Fe R-1 (Buffer solution)	43ml × 3		
703-311-R2 IATRO Fe (composition)	21ml × 2	525	2
703-3113 Fe R-1A (Color solutionon)	23ml × 2		

2) 平成2年度供与機材

a) 本邦購入分

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	保健医療協力事業によるエジプト国 カイロ小児病院向け供与機材		
1	超音波血流計 Model:811 構成: 1)本体(電池内蔵) 2)ペンシル型プローブ(L 10MHz) 3)平型プローブ(L 10MHz) 4)充電器 5)超音波専用ゲル 80z	ほくさん	3
	特別付属品: 1)ペンシル型プローブ(S 10MHz) 2)平型プローブ(S 10MHz) 3)アクアソニックゲル 80z		3 3 12
2	麻酔用ベンチレーター Model:ナフィールド 200 小児用ニュートンバルブ付き	ベンロン	2

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
3	万能骨手術鋸(ケーブル式)	ミスホ医科	1
	M-200型(01-001-00)		
	トランク型金属ケース入り		
	内訳:		
	1)01-001-01A 骨手術モニター(1)		
	2)01-001-02B ケーブル (2)		
	3)01-001-03C 回転ハンドピース(1)		
	4)01-001-04D オシレーションハンドピース(1)		
	5)01-001-05E 深部 〃 (1)		
	6)01-001-06F 回転カッターホルダー(1)		
	7)01-001-07G 双鋸ホルダー (1)		
	8)01-001-08 ~10H		
	回転用カッター 30, 40, 50mm(各3)		
	9)01-001-11 ~12I		
	オシレーションカッター 35, 50mm(各3)		
	10)01-001-13 ~15J		
	銀杏葉カッター 38, 46, 52mm(各3)		
	11)01-001-16 ~20K		
	深部用カッター A~E (10)		
	12)01-001-21L C, E 用ナットスパナ(1)		
	13)01-018-02 ~07H ショートドリル		
	2.0, 2.5, 2.8, 3.0, 3.5mm (5)		
	14)01-019-01 ~03N ロングドリル		
	2.5, 2.8, 3.0mm (3)		
	15)01-001-220 チャックハンドル(1)		
	16)01-001-23P 変速フットスイッチ(1)		
	17)01-001-24Q 鋼線誘導器 (1)		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
5	酸素濃度計	アイカ	3
	Model:OHD-1000 (アラーム付)		
	標準付属品内訳:		
	1)センサー OS-1000 (1)		
	2)Tピース (1)		
	3)電池 (単 3型) (4)		
	4)取付金具 (1)		
	特別付属品:		
	1)スペアセンサー OS-1000		6
6	電動式骨手術セット		
	1.キルシュナー鋼線牽引セット		1
	01-011-00		
	内訳:		
	1)01-010-00 東大式骨手術モニター (トランス付)及び付属品 (1)		
	2)01-022-01,03 ボルシャルト 緊張弓(大,小) (各1)		
	3)01-025-00 キルシュナー鋼線ガイド(1)		
	4)01-063-03 鋼線 1.5mm (10)		
	5)01-026-00 鋼線固定皿 (4)		
	6)01-027-00 鋼線固定ネジ (4)		
	7)01-028-00 緊張弓牽引鈎 (1)		
	2.ショートドリル 01-018-01		1

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	3. ロングドリル		1
	01-019-01~01-019-07 各1本		
7	インファントウォーマー	アトム	2
	Model:V-3200N (CH-6813)		
	付属品内訳:		
	1)蘇生装置 (1式)		
	2)体温プローブ (1)		
	3)プローブ固定スポンジ 20 入(1)		
	4)ドライバー (1)		
	5)防塵カバー (1)		
	6)酸素減圧調整器 (1)		
	特別付属品:		
	1)モニタースタンド CH-5779		2
	2)ボールセットA CH-6821		2
	3)マスク 未熟児用 2320281		2
	4) " 新生児用 2320271		2
	5)テストバッグ 50ml 2300890		2
	6)気管カテーテル		
	(2.5, 3.0, 3.5, 4.0 各1個/セット)		2

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
8	島津外科用XTV装置		巻式
	構成：		
	1)外科用XTV, WHA-10B		一式
	・ X線制御装置		(1)
	・ X線発生器		(1)
	・ 保持装置(C7-ムスタンド, X線管含む)		(1)
	・ ハイコントラストイメージファイバ IA-7V		(1)
	・ X線テレビジョン操作 (台車付)		(1)
	・ カセットホルダ		(1)
	投入電源：220V, 50Hz, 3KVA		
	2)ビデオメモリ, MR-512F		一式
	3)滅菌カバー (発生器, IA, TVカメラ, C7-ム用)		一式
	4)ガイドワイヤー (滅菌カバーのC7-ム取付用)		一式
	5)16形サブモニタ, 台車付		一式
9	島津頭部CTスキャナー, SCT-100N-2用スペアパーツ		巻式
	構成：		
	1)Air Filter 743-110204 DG製		2ヶ
	2)Discherger 743-110401 DG製		2ヶ
	3)Velt, 823-000141 DG製		2ヶ
	4)-1 Disk Cartridge, 721-000382 DG製		2ヶ
	4)-2 Spring, 743-110934 DG製		2ヶ
	5)16inch AD Conva 541-27703		1ヶ
	6)Cabel for Shaft Encoder 502-00138		1ヶ
	7)Shaft Encoder 502-01299		1ヶ

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
9	8)H. V. Cabel 509-41980-27		2ヶ
	9)Oil Set CRYSTOL-70 532-22082		3ヶ
	10)Oil Hose 532-21598-03		2ヶ
	11)Velt 1100H-25.4 032-21767		2ヶ
	12)Velt 173L-25.4 032-21619		2ヶ
	13)V Velt M28(PCB Assy)032-20016		1ヶ
	14)Velt 240L-19(PCB Assy)032-21588		1ヶ
	15)Warner Blake(PCB Assy)500-11167		1ヶ
	16)Cassette 8"×10"		4ヶ
	17)Monitor TPM-310A 078-58005-01		1ヶ
	18)CRT		1ヶ
	19)FDC Nova PCB Assy 105-12815-01		1ヶ
	20)YD1740-04PCB Assy 088-51001-02		1ヶ
	21)Picture MEM I/F PCB Assy 105-09912		1ヶ
	22)Picture MEM Cont, PCB Assy 105-11129		1ヶ
	23)Video Output I/F PCB Assy 105-09924-01		1ヶ
	24)ROT MEM I/F PCB Assy 105-09903		1ヶ
	25)R&C MEM Cont 2PCB 105-14611		1ヶ
	26)Character MEM I/F PCB Assy 105-11135		1ヶ
	27)D/IO Cont Nova PCB Assy 105-10029		1ヶ
	28)Basic Gene-1 PCB Assy 105-15113		1ヶ
	29)Pulse Gen PCB Assy, 500-07463		1ヶ
	30)Transe Cont PCB Assy, 541-24145		1ヶ
	31)POT Cont A PCB Assy, 541-24843		1ヶ

b) 現地調達機材

No.	品名
No. 1	自動現像装置 (コダック)
No. 2	超音波診断装置 (アロカ製)
No. 3	外科用顕微鏡 (Shin Nippon製)
No. 4	レフラクトメーター (トプコン製)
No. 5	網膜カメラ
No. 6	中耳アナライザー
No. 7	耳鼻科手術用ヘッドライト (Heine製)

3-6 ローカルコスト負担事業

ローカルコスト負担事業については病院紹介のパンフレット作成の必要性に関し、検討を行った。

カイロ大学小児病院は開院以来、日本病院として多くの人に信頼され高い評価を得ている。特に増築工事後は最新設備と高度の技術を誇る小児病院として広く注目を集めており、見学者の受入れや病院及び日本による技術協力のプロジェクトを紹介する機会も増え、病院紹介のパンフレット作成の必要性が高まってきた。そのため既存のものを大幅に改訂し、増築した5、6階部分を追加したパンフレットを作成しようとするものである。

調査団は上記計画について聴取、検討するとともに、正式な承認については詳細なパンフレットの概要（部数、ページ数、写真、サイズ等）、経費、作成スケジュール等を整理した上で、計画の必要性、妥当性を判断し、その結果をプロジェクトへ連絡することとした旨、説明を行った。

4. 暫定実施計画（T S I）及び詳細年次計画

暫定実施計画については以下の表1から表3をまず参照されたい。

表1 …… 実施協議調査団署名・交換のT S I

表2 …… 平成元年度プロジェクト実施計画

表3 …… 平成2年度プロジェクト実施計画

表1 実施協議調査団署名・交換のT S I

Tentative Schedule of Implementation for
The Cairo University Pediatric Hospital Phase II Project

YEAR	1989	1990	1991	1992	1993	1994
JAPANESE FISCAL YEAR	1989	1990	1991	1992	1993	1994
COUNTEPART TRAINING IN JAPAN Pediatrics Pediatric Cardiology Pediatric Surgery Nursing M.E. and others	3 persons	3	3	3	3	3
JAPANESE EXPERTS						
a) Leader						
b) Coordinator						
c) Pediatric Cardiac Surgery						
d) Workshop						
Pediatric Cardiology	—	—	—	—	—	—
Pediatric and Pediatric Surgery (including Anesthesia)	—	—	—	—	—	—
Nursing Education	—	—	—	—	—	—
Clinical Pathology and Laboratory	—	—	—	—	—	—
Radiology	—	—	—	—	—	—
Infection and Immunity						
Neurology						
Physiotherapy						
e) ICU (including NICU)	—	—	—	—	—	—
f) Nursing (2 persons)	—	—	—	—	—	—
g) Medical Engineering						
h) Medical Record						
i) Others						
A.V.						
Cardiac Catheterization						
Mission	◎ Repair and Adjustment Team	Planning and Consultation Team	Advisory Team	Repair and Adjustment Team	Evaluation Team	
Equipment	—	—	—	—	—	
Term of Cooperation	7.1					6.30

◎THE Team of Repair and Adjustment of the donated equipment for the Phase I Project will be dispatched in fiscal 1989.

表2 平成元年度プロジェクト実施計画

エジプト国カイロ大学小児病院プロジェクト (II)
平成元年度実施計画

R/D期間: H元. 7. 1. ~ H6. 6. 30.

項目	指導科目	氏名	所属先	派遣期間	元年			2年										
					7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
専門家派遣	長期専門家	リーダー	伊佐 二久	無	S63.6.6 -H2.6.30													
		業務調整	河村 恵子	聖マリア病院	S63.8.31-H2.8.30													
		小児集中治療	金川 修造	国立病院医療センター	H1.8.18 -H3.8.17													
		視聴覚教育	牛山 雅英	無	H1.12.6 -H3.12.5													
		医療機器保守管理	丸山 昌明	(株)メディサン	S63.9.5 -H1.9.4													
		小児心臓外科	村上 厚文	昭和大学医学部	H2.1.29 -H3.1.28 H2.2.16 -H3.2.15													
		小児麻酔	伊藤 隆	昭和大学医学部	H2.3.30 -H3.3.29													
	短期専門家	小児看護	石野 徳子	昭和大学病院看護部	1.10.2-1.12.30													
		小児看護	工藤 政枝	神奈川こども医療センター	1.10.2-1.11.1													
		小児麻酔	柳下 芳寛	国立病院医療センター	2.1.12-2.2.3													
		小児外科	岡松 孝男	昭和大学医学部	2.2.16-2.3.2													
		小児外科	岡松 孝男	昭和大学医学部	2.2.16-2.3.2													
		小児麻酔	五島 田千	昭和大学医学部	2.2.16-2.3.2													
		小児看護	伊藤 美子	昭和大学病院看護部	2.2.16-2.3.2													
小児看護	伊藤 貴子	昭和大学病院看護部	2.2.16-2.3.2															
小児看護	立山 子彦	無	2.2.26-2.3.16															
小児看護	石野 徳子	昭和大学病院看護部	2.2.26-2.3.9															
小児機材据付	森田 壽彦	AVCC	2.3.15-2.4.2															
小児機材据付	岡田 保	AVCC	2.3.15-2.4.2															
調査団					機材修理調査団													
機材供与					購送請求 $\Delta \leftarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow$ $\leftarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow X$ 船積 到着													
ローコスト負担事業	①現地業務費臨時支給 小児外科W/S, 看護W/Sの活動経費 ②応急対策費 院内整備 ③																	
カウンター修員	A2-3 分野	氏名		期間	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
	①新生児ICU ②小児看護 ③小児看護 ④小児ICU ⑤小児ICU ⑥小児看護	Dr. Nabil Abd El Ghany Ms. Afaf Hosny Ismail Ahmed Ms. Nahed Aly El Sayed Abd El Kader Dr. Mohamed Hesham Sayed Ahmed Ebraheem Dr. Sherif Mahmoud Abdel-Alim Ms. Etemad tonsi Al-Sayed		6か月 9か月 9か月 6か月 6か月 9か月														

調査団は今迄の実績をふまえつつ、今後の計画を策定すべくエジプト側との協議に臨んだ。協議結果等は以下に示すとおりである。

1) 専門家派遣（長期）

a) チームリーダー

現在の伊佐リーダーが本年6月末で任期満了となるため後任として濱野三吾氏（前国立療養所南横浜病院院長）を本年6月中旬より派遣予定である。

b) 業務調整

現任の河村調査員が本年8月末で任期満了となるため後任を適切な時期から派遣する。後任者については内諾を得ている候補者が1名おり、調査団帰国後出発日をはじめ詳しく打合せを行うこととする。

c) 小児看護

現任の根反、柴田両氏が本年7月上旬で任期満了となり後任については昭和大学病院看護部より2名が内定している。派遣時期については少なくとも一週間程度の引継ぎ期間が必要と考えられることから、6月下旬には後任者2名が赴任できるよう調査団帰国後両名及び所属先と打合せを行うこととする。

d) 医 師

現在医師については村上専門家（小児心臓外科指導）と金川専門家（小児集中治療指導）が派遣されているが、両名とも本年8月中旬で任期満了となる。調査団派遣時には両名の後任については対応が未決定であったが、エジプト側との協議及び院内視察等を行った結果、調査団は後任者の重要性について認識し、適任者の人選をはじめ派遣時期、期間等について帰国後早急に検討を行うこととした。

e) 視聴覚教育

視聴覚教育については現在牛山専門家による技術指導が行われているが、同専門家は本年1-2月上旬までの任期である。その後の対応についてはエジプト側のさらなる自立を促すため専門家派遣は暫く見合わせることとし、対応を見守る方がよい、とする意見がまとめられた。

f) 医療機器保守管理

医療機器保守管理については丸山専門家による技術指導が行われており、同専門家は来年1月末までの任期である。同分野の今後の対応（任期延長、後任派遣等）に関しては現場からの意見を聞きながら必要に応じ対応を検討していくこととする。

2) 専門家派遣（短期）

a) 放射線

昨年9月に心カテチームの一員として派遣された中澤専門家の指導が極めて効果的であったことから、本年度も同分野の専門家の派遣が望ましい。

b) 検査

本年1月に血液ガス分析装置の調整のため矢沢専門家が派遣されたがその指導が効果的であったことから、本年度も同分野の派遣が可能であれば望ましい。特に指導内容については特定の医療機器についてのみでなく、検査一般のレベルアップを図ることができればより効果的と考えられる。

3) ワークショップ

a) 小児外科

例年昭和大学岡松教授を中心にテーマを定めて実施されてきているが、本年も10月から12月の適切な時期を目途に開催されることが望ましい。

b) 小児看護

例年3月に実施している看護ワークショップについては、本年は湾岸情勢の悪化のため専門家派遣が実現できず現地スタッフのみで実施したが、今年度は日本からの派遣専門家を交えて開催できると望ましい。なお実施に際しては事前の打合せを念入りに行うこと、また、帰国研修員が主体的にプロジェクトを作成することができればより効果的である。

c) 感染症

エジプト側との協議時に実施して欲しい旨要望が出され、調査団側としては対応準備はなかったものの、実施は効果的であると受けとめ、帰国後に適任者の人選をはじめ、検討を行うこととした。

d) 心臓カテーテル

昨年9月の心カテチームの派遣が効果的であったことにより、再度の実施の可能性を検討することとなった。詳細は村上専門家をはじめとする現場からの意見と派遣専門家の予定が合致した時に実現することとなろう。

4) 研修員受入

本年度も例年とおり6名の受入れを予定しており調査団派遣時にすでに2名が選抜されていた(分野は小児ICU、心臓カテーテル、期間はいずれも6か月)。他は看護分野2名、技師1名、施設管理1名となる見通しである。

5) 機材供与

3年度供与機材について、すでに入手済のA4フォームに基づき打合せを行った。機材供与の方針としては過去に供与した機材のさらなる効果的な活用に重点を置くこととし、なるべく必要最小限の物に絞って購送を行うこととした。その内容は次のとおりである。

(本邦にて購入、輸送を行う機材)

- ① ヘモオキシメーター
- ② 冷光源照明装置
- ③ 持針器
- ④ ガスター
- ⑤ 気管支鏡用部品

(現地調達を行う機材)

- ① シノプトフォア
- ② 誘発電位検査装置(シグナルプロセッサー)
- ③ 手術用顕微鏡

なお本邦分については調査団帰国後、直ちに購送手続に入ることを説明し、また現地調達分については早期に見積り書を徴収の上提出するよう依頼を行った。

5. 実施運営上の問題点

計画打合せ調査団は派遣前に以下のごとき対処方針を整理し、詳細な打合せ、検討をふまえた上で現地調査に臨んだ。

エジプト国カイロ大学小児病院プロジェクト（第Ⅱ期）
計画打合せ調査団対処方針（案）

調査団確認事項及び協議事項	調査団派遣時迄の準備及び対応	調査団派遣時の対処方針
<p>I. 先方実施体制 カイロ大学小児病院 (Cairo University Pediatric Hospital)</p> <p>1. 新增築部門に対する技術移転状況 病院増改築工事は1989年末に完了し、1990年1～3月にかけて医療機器、視聴覚機器の移転及び据付けが順調に行なわれた。しかしながらそれに対するエジプト側の準備（カウンターパートの人選、配置等）が遅延し、専門家による指導も当初計画より遅れ気味となったが、1990年8月に心カテ室がオープンし、少しずつではあるが、増改築部門に対しての指導が進捗しつつある。</p> <p>2. カウンターパートの配置 現在長期専門家が9名派遣されており、熱心なカウンターパートが配置されている分野もあるが、中には定着性の良くない分野、また能力的に限界があり、多くを望めない分野もある。</p> <p>3. エジプト側対応について 1) 病院長をはじめとするエジプト側上層部と日本側専門家との間で技術指導の方針に関する意見が異なる例が見られる。 2) 日本人専門家に対する反応が鈍く、専門家は継続的、繰り返しの指導が必要とされる。</p>	<p>1) 派遣中長期専門家の報告書から状況を整理する。 2) 帰国専門家から事情を聴取する。</p> <p>1) 病院内組織図や人員配置表等を整理する。</p>	<p>1) 病院内視察を行う。 2) 派遣中専門家から事情を聴取する。 3) エジプト側関係者と協議を行う。</p> <p>1) 派遣中専門家から事情を聴取する。 2) 1)の結果をふまえ、必要に応じエジプト側に改善されるよう申し入れを行う。また改善が難しいと考えられる分野については専門家の指導方針や今後の派遣計画をふまえた上で今後の対応につき検討を行う。 1) 必要に応じ、さらに熱心に技協に対応するよう申し入れを行うなどの形で解決策を検討する。</p>

調査団確認事項及び協議事項	調査団派遣時迄の準備及び対応	調査団派遣時の対処方針
<p>II. プロジェクトの活動実績と今後の活動について (1989年7月～1991年3月)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児心臓疾患の診断、治療技術の改善 2. 小児科、小児外科、リハビリテーション、及び理学療法 3. 小児看護 4. 臨床病理、診療放射線技師を含む診断施設 5. ICU活動の強化 6. 医療機器の保守 7. 医療記録、統計の整備 8. その他必要な分野 <p>III. 協議上の懸案事項について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長期専門家の後任について 現在長期専門家が8名(チームリーダー、業務調整、小児集中治療、視聴覚教育、医療機器保守管理、小児心臓外科、小児看護2名)派遣されているが、殆どが1991年内に任期満了となる。後任が内定している分野もあるが、未定の分野も多い。 2. ワークショップ実施計画の整理について T S I においては毎年8分野(小児科・小児外科、看護教育、臨床病理・ラボラトリー、診療放射線、小児心臓外科、感染症、神経学、理学療法)のワークショップの実施が計画されているが、第II期開始後の1年8か月間に実施できたのは小児外科(1990年2月、1990年12月)及び看護教育(1990年3月)の2分野3度のみである。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 後任が未定の分野については、各専門家の所属先等に対し、後任者派遣の可能性について確認を行う。 1) 毎年8分野のW/Sを実施すべく専門家の人選及び派遣が可能か否かにつき、あらためて検討を行う。 2) 8分野の実施にあたり対応すべく予算措置(専門家派遣経費)が確保できるかにつき、確認を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. T S I に沿って各部門の技術移転の進捗状況について調査、確認を行う。 2. 各分野の進捗状況については必要に応じ、調査団ミニッツにその要約を記載する。 3. 現在までの実績を踏まえつつ、今後(1991年4月以降)の我が方投入スケジュール(専門家派遣、研修員受入れ、機材供与、ローカルコスト負担事業)及び先方実施体制を勘案の上、実施協議調査団時に策定した協力計画の妥当性、実施上の課題点等につき検討を行う。 1. エジプト側の要望を聴取し、後任の必要性について検討する。長期の派遣が困難である分野については短期派遣での対応について可能性を検討する。 1. ワークショップ以外の短期専門家派遣の必要性も考慮し、エジプト側の要望を聴取し国内での整理結果を加え最終的な決定を行う。

調査団確認事項及び協議事項	調査団派遣時迄の準備及び対応	調査団派遣時の対処方針
<p>3. 研修員受入れの今後の方針 第Ⅱ期開始後、計12名の受け入れを行っている。</p> <p>4. 供与機材の活用状況について 1983年度の第Ⅰ期の開始以来、総額にして3億を越す機材の引き取りが完了しているが、エジプト側が十分に使いこなす段階に至っていない機材もある。またエジプト側にも毎年必ず機材が届くという安心感が生じつつある。</p>	<p>1) 調査団側の研修員受入れに関わる要望、方針等を事前に整理しておく。</p> <p>1) 今迄に供与した機材のリストを可能な範囲で整理する。</p>	<p>1. エジプト側の要望、方針を確認し、可能な範囲で日本側意見を提示する。</p> <p>1. 必要に応じ、次年度以降の供与額の削減を検討する。</p>

上記対処方針に基づき調査を行った結果、プロジェクト実施運営上の問題点として以下のとおり整理された。なおエジプト側も問題解決に向けて努力する旨表明を行った。

1) 先方実施体制について

増築部門に対する技術移転は日本側専門家の継続的な指導により順調な進捗が見受けられたが、今後の課題として次の点が重要と思われた。

① 施設のさらなる活用化が図られること

② カウンターパートの定着化が促進されること

これは主として収入面の問題から優秀なカウンターパートが転出してしまう例が以前に見受けられたのであるが、技協のさらなる浸透化のためにカウンターパートの定着化が促進されることが望ましいと考えられるものである。

③ 日本側専門家とエジプト側関係者（特に病院上層部）との間にさらに充実したコミュニケーションが行われること

これについては日本側の苦心の努力がエジプト側、特に病院上層部にうまく伝わらないケースが過去に見受けられたことから、双方の充実したコミュニケーションのもとで、日本側の努力を理解し、受入れるべき体制のあり方が今後とも望まれるところである。

2) プロジェクトの活動実績と今後の活動について

今迄記してきたとおり、各協力分野とも派遣専門家による指導を中心に順調に技術移転が積み重ねられてきている。唯一懸案な点としては協力項目中の医療記録、統計の整備についてである。すなわち昨年12月に病歴管理指導チームが派遣され、カルテの管理をはじめとする熱心な指導が展開されたが、未だにカルテの中央化は実現されておらず、今後の改善が必要と考えられる。同分野の専門家の再度の派遣についても検討を行ったが、暫くはエジプト側の対応を見守ることとした。エジプト側の自助努力により一定レベルまでの整備の実現が望まれるところである。

3) 実行計画上の問題点について

① 長期専門家の後任

チームリーダー、業務調整員、小児看護2名に関しては後任者が決定もしくは内定していることもあり、課題としては、これらの各分野について引継期間の調整をうまく行うことが必要と考えられた。また小児心臓外科及び小児ICUの医師については現任者の任期満了後

の対応が未定であるため、今後の計画を立案すべく長期派遣の可能性を検討するとともに、短期専門家を継続して派遣することについても考慮すべきかと考えられる。

② ワークショップ実施計画について

実施協議調査団派遣時においてはワークショップとして実施が可能と考えられる分野については全てT S Iに盛りこんだ形でまとめた。しかしながら予算上の制限もあることから、エジプト側の要望と日本側の派遣の可能性とを考慮しつつ協議に臨んだ結果、小児外科、看護、感染症、心臓カテーテルの4分野を優先的に取り上げることとした。今後は事前準備を含めて派遣時期を考慮しつつ、円滑に実施できるような計画の立案が望まれるところである。

③ 研修員受入

研修員については受入れの分野、及び帰国後の配置についてさらなる充実、配慮があればより望ましい。第Ⅱ期協力開始以後、受入れを実施したのは小児I C Uの医師及び看護婦が中心であることから、今後は放射線技師等のスタッフ受入れの実現も期待したい。また帰国後の研修員については、さらなる望ましい配置をされるようにとする一文をミニッツに盛り込むべく協議を行ったが、内政干渉的要素があるとのことでミニッツに記載するには至らなかった。今後のエジプト側のさらなる理解、配慮を期待したい。

④ 供与機材の活用

機材に関しては第Ⅰ期の時代から多くの供与が実施されたこともあり、さらに新たに多くの機材を送付するよりも、現存のものをいかに効果的に活用していくかということを重視して協力を行うべき時期に来ていると考えられた。暫くは供与機材等の購送は必要最小限に絞り込むこととし、エジプト側の自助努力意識形成の促進を図ることがより望ましいと考えられた次第である。

6. 調査団所見

第Ⅱ期協力が開始され、1年10か月が経過し、協力の各分野に着実に進捗が見受けられている。派遣専門家による努力の賜物と考えられる。エジプト側は専門家の存在が無いと自分達で卒先して指示どおりに対応することは困難な面もあるが、継続的な指導によりさらなる発展が見られることを期待したい。

さて、本報告書を取りまとめ中に国際協力事業団医療協力部に二つの知らせが届いたのでここに記しておきたい。

まず一つはカイロからの連絡で“カメル院長が教育大臣に就任、カリル副院長が新院長に昇格”との知らせであった。本報告書においても度々エジプト側、特に病院上層部の対応について記したが、カメル院長は本プロジェクトの開始時から係わってきている人物であり、その存在は技協を実施する上で極めて重要なものであった。またムニエル事務長の動向も微妙であるとのことであり、協力の受入れ体制という点から新しいスタッフの対応を暫く見守る必要があると考えられる次第である。また日本側も本年6月から8月にかけてチームリーダー、調整員をはじめメンバーが大幅に代わることもあり、状況によっては国内委員会から適宜助言を行うことが必要となるであろう。

さて、今一つの知らせは本調査団に参画された昭和大学数馬医師が村上専門家の後任として一年間赴任するという嬉しい連絡であった。村上専門家の努力により移転されてきた小児心臓外科の技術がさらに維持、発展される期待から極めて意義が大きく、今後数馬医師をサポートすべく充実した実行計画作りを行うことが重要となるであろう。

7. 合同委員会の協議結果

7-1 経緯と概要

本調査団派遣に先立ち、合同委員会の協議結果としてミニッツに盛り込むべき内容等について、4月1日の昭和大学に於ける会議や調査団員による派遣前団内打合せ等を通じ十分検討し、調査団対処方針案を策定した。

本合同委員会は、平成3年4月28日午前9時よりカイロ大学小児病院において友好裡に行われ、我が方奥山和男計画打合せ調査団団長、先方Prof. Dr. Hussein Kamel Bahaa El Dinカイロ大学小児病院長との間で、ほぼ我が方案の通りでミニッツに署名を了した。

付属资料

1. ミニッツ

2. カイロ大学小児病院スタッフ名簿

3. カイロ大学小児病院1990年病院統計

THE MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE PLANNING AND CONSULTATION SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT
ON THE IMPLEMENTATION PLAN (1991) OF
THE CAIRO UNIVERSITY PEDIATRIC HOSPITAL PHASE II PROJECT

The Japanese Planning and Consultation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Kazuo Okuyama visited the Arab Republic of Egypt from April 22 to 29, 1991 for the purpose of discussing the detailed implementation plan for 1991 of the Cairo University Pediatric Hospital Phase II Project (hereinafter referred to as "the Project").

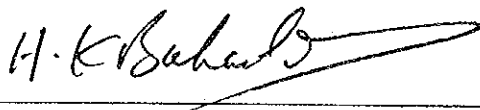
During its stay, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Egyptian authorities concerned regarding the activities and implementation of the Project.

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Cairo, April 28, 1991



Prof. Dr. Kazuo Okuyama
Leader,
Planning and Consultation
Survey Team
Japan International
Cooperation Agency,
Japan



Prof. Dr. Hussein Kamel Bahaa El Din
Director,
Cairo University Pediatric Hospital

The Arab Republic of Egypt

I. GENERAL REVIEW

The Project has started from first of July 1989 for five-years for the purpose of improving upon diagnosis technique, treatment of pediatric diseases, including cardiac diseases, at Cairo University Pediatric Hospital (hereinafter referred as "the Hospital") and upgrading its functions as the central hospital for pediatrics and thereby contributing to the promotion of public health in the Arab Republic of Egypt.

In accordance with the Record of Discussions signed on 15 of June, 1989 by both sides, JICA has dispatched 9 long-term experts and 25 short-term experts to Egypt and has accepted 12 counterparts for training in Japan, and also has taken necessary measures to provide equipment necessary for smooth implementation of the Project.

Both sides reviewed the activities of the achievement made so far with regard to the implementation of the Project. Thus, based on the common recognition of the present state of the Project, both sides confirmed the continuous cooperation between the Japanese and Egyptian governments for the further progress of the Project.

II .SUMMARY OF DISCUSSIONS

Both sides agreed upon the matters as follows:

1. Provision of Machinery and Equipment

- 1) The list of equipment should be handed in from each section to the Director of CUPH.
- 2) The priority of equipment should be discussed deliberately between the Director of CUPH and Japanese Team Leader.
- 3) The name of person (or section) who requests equipment should be written in the final list of equipment.

2. Facilities of CUPH

The library will be opened within one month, and other facilities (5F, 6F) of CUPH should be utilized more effectively.

III. ACHIEVEMENT OF TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

The technical cooperation activities under the Project in FY 1989 and FY 1990 have been carried out as follows:

1. Dispatch of Japanese experts to the Project

a. Long-term experts (field, name, term)

1) Leader	Dr. Tsuguhisa Isa 1988, 6/6 - 1991, 6/30
2) Coordinator	Ms. Keiko Kawamura 1988, 8/31 - 1991, 8/30
3) Pediatric I.C.U.	Dr. Shuzo Kanagawa 1989, 8/18 - 1991, 8/17
4) Audio-Visual Education	Mr. Masahide Ushiyama 1989, 12/6 - 1991, 12/5
5) Medical Engineering	Mr. Masaaki Maruyama 1988, 9/5 - 1989, 9/4 1990, 1/29 - 1992, 1/28
6) Cardiac Surgery	Dr. Atsubumi Murakami 1990, 2/16 - 1991, 8/15
7) Cardiac Anesthesia	Dr. Takashi Ito 1990, 3/30 - 1991, 3/29
8) Pediatric Nursing	Ms. Koharu Nesori 1990, 7/7 - 1991, 7/6
9) Pediatric Nursing	Ms. Hiroko Shibata 1990, 7/7 - 1991, 7/6

b. Short-term experts (field, name, term)

1) Pediatric Nursing	Ms. Tokuko Ishino 1989, 10/2 - 1989, 12/30
2) Pediatric Nursing	Ms. Masae Kudo 1989, 10/2 - 1989, 11/1
3) Anesthesiology	Dr. Yoshihiro Yagishita 1990, 1/12 - 1990, 2/3

4) Pediatric Surgery	Dr. Takao Okamatsu 1990, 2/16 - 1990, 3/2
5) Pediatric Surgery	Dr. Akira Gomi 1990, 2/16 - 1990, 3/2
6) Anesthesiology	Dr. Chisato Shimada 1990, 2/16 - 1990, 3/2
7) Pediatric Nursing	Ms. Kumi Ito 1990, 2/16 - 1990, 3/2
8) Pediatric Nursing	Ms. Takako Tajima 1990, 2/16 - 1990, 3/2
9) Pediatric Nursing	Ms. Kyoko Tateyama 1990, 2/26 - 1990, 3/16
10) Pediatric Nursing	Ms. Tokuko Ishino 1990, 2/26 - 1990, 3/9
11) Installation for audio-visual equipment	Mr. Toshihiko Mori 1990, 3/15 - 1990, 4/2
12) Installation for audio-visual equipment	Mr. Tamotsu Okada 1990, 3/15 - 1990, 4/2
13) Cine-Angio	Mr. Ken Matsumoto 1990, 6/11 - 1990, 9/18
14) Cardiac Catheterization	Dr. Akira Ishizawa 1990, 9/1 - 1990, 10/21
15) Pediatric Nursing	Ms. Sadako Motohashi 1990, 9/1 - 1990, 10/21
16) Radiology	Mr. Yasuo Nakazawa 1990, 9/1 - 1990, 10/29
17) Adjustment of equipment	Mr. Tsutomu Iwasaki 1990, 9/10 - 1990, 9/30
18) Medical Record	Dr. Masayoshi Takahashi 1990, 12/1 - 1990, 12/16
19) Medical Record	Mr. Satoshi Takai 1990, 12/1 - 1990, 12/16
20) Pediatric Surgery	Dr. Takao Okamatsu 1990, 12/12 - 1990, 12/24

- 21) Pediatric Surgery Dr. Akira Gomi
1990, 12/12 - 1990, 12/24
- 22) Pediatric Nursing Ms. Fusako Sasaki
1990, 12/12 - 1990, 12/24
- 23) Pediatric Nursing Ms. Mika Yasuda
1990, 12/12 - 1990, 12/24
- 24) Pediatric Respiratory Dr. Sango Hamano
1991, 1/12 - 1991, 1/20
- 25) Operation of Medical Equipment Mr. Naoyuki Yazawa
1991, 1/14 - 1991, 3/2

2. Training of Egyptian personnel in Japan (field, name, term)

- 1) Pediatric ICU Dr. Nabil Abd El Ghany
1990, 1/31 - 1990, 8/2
- 2) Pediatric Nursing Ms. Afaf Hosny Ismail
1990, 2/6 - 1990, 10/26
- 3) Pediatric Nursing Ms. Nahed Aly El Sayed Abd El Kader
1990, 2/6 - 1990, 10/26
- 4) Pediatric ICU Dr. Mohamed Hesham Sayed Ahmed Ebraheem
1990, 3/27 - 1990, 9/29
- 5) Pediatric ICU Dr. Sherif Mahmoud Abdel-Alim
1990, 3/27 - 1990, 9/29
- 6) Pediatric Nursing Ms. Etemad tonsi Al-Sayed
1990, 3/27 - 1990, 12/9
- 7) Medical Engineering Mr. Mohamed Sadek Mohamed
1990, 5/30 - 1991, 4/3
- 8) Pediatric ICU Dr. Mohamed Amr Abdelsabour Shahin
1990, 10/26 - 1991, 4/29
- 9) Pediatric ICU Dr. Ahmaed Mohamed El Sawy Zanaty
1990, 10/26 - 1991, 4/29
- 10) Pediatric ICU Dr. Mohamed Gamal Ahmed Shouman
1990, 11/28 - 1991, 4/29
- 11) Pediatric Nursing Ms. Abdel Hamed Mohamed Mervat
1990, 11/28 - 1991, 9/2

12) Pediatric Nursing Ms. Mohamed Abdo Khalil Eman
1990, 11/28 - 1991, 9/2

3. Provision of Machinery and Equipment

Machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as " the Equipment ") necessary for the implementation of the Project have been provided in FY 1989 and FY 1990.

The following is the list of main Equipment provided to the Hospital.

FY 1989

- 1) Automatic Cell Counter (1)
- 2) Ventilator (3)
- 3) Patient Monitor (ECG-H.R) (4)
- 4) Ventilator for Anesthesia (1)
- 5) Monitor (Operation theatre) (2)
- 6) Automatic Infusion Pump (8)
- 7) Syringe pump (20)
- 8) D.C. Defibrillator (1)
- 9) Pulse Oximeter (3)
- 10) Tube of the CT-scanner (1)
- 11) Oesophageal Dilator set (2)
- 12) Incubator filter (500)
- 13) Photo Therapy bulbs (150)
- 14) U.V. sterilizer lamps (36)
- 15) Patient cable for monitor (8)
- 16) Distilling water machine (1)
- 17) Tube sterilization machine (1)
- 18) Fiber Scope (Rhino-laryngeal) (1)
- 19) Photo Therapy (2)
- 20) Automatic Blood Chemical Analyzer (1)
- 21) Blood Gas Analyzer (1)
- 22) Operation Laparoscope (1)
- 23) Incubator Sterilization machine (1)
- 24) Abdominal Echograph (1)

FY 1990

- 1) Doppler type blood pressure monitor (3)
- 2) Anesthesia machine with ventilator and humidifier for infant (2)
- 3) Portable X-ray TV System (1)
- 4) CT-scanner spare parts (1 set)
- 5) Bone Drill set (1)
- 6) Oxygen Blender (6)
- 7) Oxygen Analyzer (3)
- 8) Bone Saw (1 set)
- 9) Ultra Red Warmer (2)
- 10) Phototherapy Unit (2)

<Local Purchase>

- 11) Automatic development machine (1)
- 12) Echograph (1)
- 13) Surgical Microscope (1)
- 14) Autorefractometer for pediatric (1)
- 15) Fundus Camera For pediatric (1)
- 16) Impedance Audiometer (1)
- 17) Pulse Oximeter (2)
- 18) Biliblanket Phototherapy Light (1)
- 19) Leucher Headlight (1)
- 20) Laminar Air Flow (1)
- 21) Inverted Tissue Microscope (1)

IV. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

According to the present state of progress and other conditions of the Project, both sides jointly formulated workable Annual Implementation Plan of the Project.

The tentative schedule of implementation is modified as shown in Annex I, and the outline of the Annual Implementation Plan for FY 1991 is as follows:

1. Japanese side

1.1. Dispatch of Japanese experts to the Project (FY 1991)

a. Long-term experts

- 1) Team Leader
- 2) Coordinator
- 3) Nurse (2 persons)
- 4) Others

b. Short-term experts

- 1) Radiology Technician
- 2) Laboratory Technician
- 3) Others

The term having not been decided, some doctors will be dispatched as necessary.

c. Work-Shop

- 1) Nursing Education
- 2) Pediatric Surgery (including Cardiac Surgery and Anesthesia)
- 3) Pediatric Infectious Diseases
- 4) Congenital Cardiac Anomalies (including Catheterization and Cardiac Surgery)
- 5) Others

1.2. Training of Egyptian counterparts in Japan (FY 1991)

- 1) Pediatric Cardiology (including ICU)
- 2) Others

1.3. Provision of the Equipment

The Egyptian side requested to the Team the provision of Equipment mentioned below. The Team promised to convey this request to the authorities concerned in Japan for its favourable consideration. Equipment necessary for the Project will be provided within the

limit of budgetary allocation of the Japanese side.



- 1) Haemoximeter (1)
- 2) Fiberoptic Headlight System (2)
- 3) Needle Holder and Forceps (5)
- 4) Pulse Oximeter (3)
- 5) Evoked Potential Analyzer (1)
- 6) Gaster (1)
- 7) Aporo-radiant warmer (1)
- 8) Ultrasonography (1)
- 9) Spareparts of Bronchoscopy (15)
- 10) Operation microscope (1)
- 11) X-Ray TV System (1)

2. Egyptian Side

- 2.1. Securing the budgetary allocation in accordance with implementation of the Project.
- 2.2. Appropriate provision of Egyptian counterparts in accordance with the implementation of the Project.

Tentative Schedule of Implementation for
The Cairo University Pediatric Hospital Phase II Project

YEAR	1989	1990	1991	1992	1993	1994
JAPANESE FISCAL YEAR	1989	1990	1991	1992	1993	1994
COUNTERPART TRAINING IN JAPAN		3 doctors 3 nurses 2 nurses 1 Engineer	3 doctors 2 nurses	3-6 persons	3-6	3-6
JAPANESE EXPERTS						
a) Leader						
b) Coordinator						
c) Pediatric Cardiac Surgery						
d) Workshop (including short-term experts)						
Cardiac Catheterization						
Pediatric and Pediatric Surgery						
(including Cardiac Surgery and Anesthesia)						
Nursing Education						
Clinical Pathology and Laboratory						
Radiology						
Infection and Immunity						
Neurology						
Physiotherapy						
e) ICU (including NICU)						
f) Cardiac Anesthesia						
g) Nursing (2 persons)						
h) Medical Engineering						
i) Medical Record						
j) Others						
A.V.						
Mission	Repair and Adjustment Team		Planning and Consultation Survey Team	Repair and Adjustment Team	Advisory Survey Team	Evaluation Team
Equipment						
Term of Cooperation	7.1					6.30

 achieved
 to be achieved

2. カイロ大学小児病院スタッフ名簿
(平成3年4月現在)

MINISTER OF HEALTH

Dr. Ragheb Dowidar

CAIRO UNIVERSITY

PRESIDENT	Pr. Dr. Ma'moon Salama
VICE PRESIDENT	Pr. Dr. Aboul Wafa El Taftazany
VICE PRESIDENT	Pr. Dr. Ihab Ismail

FACULTY OF MEDICINE

DEAN	Pr. Dr. Khairey El Samura
DIRECTOR OF HIGH INSTITUTE OF NURSING	Pr. Dr. Iman Mourad

CAIRO UNIVERSITY HOSPITAL

GENERAL DIRECTOR	Pr. Dr. Hossam Mowafie
GENERAL ADMINISTRATION	Pr. Dr. Gamal Gabr
DIRECTOR OF NEW PAEDIATRIC HOSPITAL	Pr. Dr. Hussein K. Bahaa El Din
DIRECTOR OF OLD PAEDIATRIC HOSPITAL	Pr. Dr. Ramzy El Baroudy
MATRON	Mrs. Fawzeya Shaban

HEAD OF CLINIC (Cont.)

SURGURY

GENERAL SURGURY	Pr. Dr. Nabhan Kaddah
CARDIOTHORACIC SURGURY	Pr. Dr. Saleh Bedeir
NEUROSURGURY	Pr. Dr. Ahmed Asaad
PLASTIC SURGURY	Pr. Dr. Mohamed Shawki Kamel
OPHTHALMOLOGY	Pr. Dr. Hamed El Dafrawy
UROLOGY	Pr. Dr. Ismail Shoukry
E.N.T.	Pr. Dr. Farouk Safwat
ANESTHESIOLOGY	Pr. Dr. Abdel Meguid Taha
RADIOLOGY	Pr. Dr. Mervat Shafik
ENDOSCOPY	Pr. Dr. Ahmed Kotb
I.C.U.	Pr. Dr. Hussein K. Bahaa El Din
E.E.G.	Pr. Dr. Ibrahim Shoukry
E.C.G.	Pr. Dr. Fadia Aly Mahmoud
E.M.G. (PHYSIOTHERAPY)	Pr. Dr. Fawkia Moursy
ULTRASONOGRAPH (ABDOMINAL)	Pr. Dr. Iman El Abd
ULTRASONOGRAPH (CARDIAC)	Pr. Dr. Abdelal El Fouly
LABORATORY	Pr. Dr. Samiha Moursy
DAY CARE ROOM	MATRON
BLOOD TRANSFUSION	Pr. Dr. Amal El Beshlawi

CAIRO UNIVERSITY NEW PAEDIATRIC HOSPITAL

DIRECTOR	Dr. Hussein Kamel Bahaa EL Din
VICE DIRECTOR	Dr. Mohamed Khalil Abdel Khalek
CHIEF ADMINISTRATOR	Mr. Moneir Hafez
MATRON	Mrs. Faiza Radey

HEAD OF CLINIC

PAEDIATRICS

CARDIOLOGY	Pr. Dr. Fadia M. Aly Mohamed
HEPATOLOGY	Pr. Dr. Mohamed Saffouh
GASTROENTEROLOGY	Pr. Dr. Ibrahim Fayed
GENETICS	Pr. Dr. Ekram Abdel Salam
HAEMATOLOGY	Pr. Dr. Amal El Beshlawi
NEONATOLOGY	Pr. Dr. Nadia Badrawi
NEPHROLOGY	Pr. Dr. Ramzy El Baroudi
NEUROLOGY	Pr. Dr. Mohamed A. Khalil
CHEST	Pr. Dr. Samiha Samuel
ALLERGY	Pr. Dr. Zeinab Radwan
ENDOCRINOLOGY (DIABETES)	Pr. Dr. Isis Ghali